

(参考)

海外港湾の状況について（令和3年7月26日時点）

海上コンテナ輸送の需給逼迫に関して、北米西岸港（LA/LB港、オークランド港）及びアジア主要港（釜山港、塩田港、シンガポール港）について収集した主な情報は以下のとおりです。引き続き必要に応じて情報収集・分析を行い、情報共有を行う予定です。

●LA/LB港

【コンテナ船の寄港数・滞船状況】

✓ LA/LB港全体概要

- ・2020年10月中旬以降より沖待ちコンテナ船が発生し始め、その後2月1日には最大40隻に達した。その後緩やかに改善し6月末時点では10隻を下回る日もあったが、その後7月22日時点で29隻と増加傾向にある。（民間統計情報）
- ・なお、荷役中のコンテナ船は2020年11月頃から2021年7月まで29隻前後を推移している。なお、2019年9月以前では、沖待ちが0隻～数隻、荷役中のコンテナ船は約20隻前後であった。（報道情報、民間統計等）

✓ LA港近況

- ・コンテナ船の沖待ちは1月末～2月頭に最も増加し2月5日24隻に達したが、その後減少傾向で7月前半は平均8.8隻/日で推移し、その後上昇傾向。（LA港統計情報 図1-1）
- ・沖待ちと着岸に必要な時間については、2/1～2/5間は平均約13日であったが、6/14～/18間は平均約8日に減少。その後、7/12～/16間は平均約8.9日に増加（LA港統計情報 図2-1）
- ・LA港の滞船状況などは下記で随時更新されていますので参照ください。

<https://kentico.portoflosangeles.org/getmedia/3bc2c710-5783-4f92-a39f-ae9b167d5f1f/container-vessels-in-port>

✓ LB港近況

- ・コンテナ船の沖待ち状況については、5月11日では8隻であったが、6月に入り減少し、6月15日は2隻になるなど概ね減少傾向であった。7月20日は10隻と増加傾向にある。（LB港統計情報 図1-2）
- ・LB港の滞船状況などは下記で随時更新されていますので参照ください。

<https://polb.com/business/covid-19-information/#covid-19-overview>

【コンテナターミナル内のコンテナ蔵置日数】

- ・LA/LB港は、2020年7月期から輸入コンテナのターミナル内蔵置日数（船から荷下ろしされトラックでターミナルから搬出される日数）が上昇（2020年6月約2.5日→2021年1月約5日）。その後減少に転じ改善したが5月から再度上昇し、2021年6月で4.76日となっている。

また、コンテナがターミナルから鉄道で搬出されるまでの蔵置日数は、2021年1月7.9日→2021年4月12.4日に上昇。その後減少したが再度上昇し6月11.8日となっている。（民間統計情報）。

- ・LA/LB港のターミナル内蔵置日数などの状況は、PMSA（太平洋商船協会）の下記HPで随時更新されていますので参照ください。

<https://www.pmsaship.com/press-releases/>

<https://www.pmsaship.com/wp-content/uploads/2021/07/June-2021-Container-Dwell-Time-Press-Release.pdf>

【コンテナ貨物量】

- ・LA港の2021年3月コンテナ取扱量は、957,599TEUで前年比113%（LA港史上3月最高）。その後、

5月に100万TEU（前年比46.89%増）を超えて上昇。6月は減少し約88万TEU。

・LB港の取扱量も同様の傾向で、2021年5月に約90万TEUを超えて上昇し、6月は減少。

【新型コロナの荷役時間等への影響】

- ・ 港湾労働者の新型コロナ感染の発生の影響は緩和：LA, LB港で2月と3月で約800人の労働者がウイルスに感染したと報道。その後ワクチン接種の進展*により既に改善。
- * エッセンシャルワーカーとして2月12日より優先接種開始。（地元報道）
- ・ 消毒作業等でシフト交代間隔の増加：LA/LB港（3シフト制）での港湾作業者の交代時間が消毒作業等のため1～2時間増加し、作業効率が1割低下（港湾関係者）。
- ・ 6月18日の時点で、（LA港LB港を含む）ロサンゼルス郡全体で10,183,455回のCOVID-19ワクチンが投与。これらのうち、5,717,803が初回投与であり、4,465,652が2回目の投与。ロサンゼルス郡の16歳以上の住民のうち、67%がワクチンを1回接種し、58%が完全にワクチン接種済。（統計情報）

【政府、港湾当局の対応】

- ・ LA港湾局は2021年2月1日から「The Port's Truck Turn-Time and Dual-Transaction Incentive Programs」を導入。トラックのターンタイムの短縮5%～20%毎に対し、50セントから2.75ドルのインセンティブ。またターミナルで貨物を下ろし、別コンテナを積み出発する場合、積載されたTEUあたり40セント～1.4ドルのインセンティブ。（LA港HP）

・7月16日 米国運輸省は、プティージェッジ運輸長官が、ロサンゼルス港、ロングビーチ港の混雑・サプライチェーンの問題に関して関係者による円卓会議を7月15日に主催（概要）

- ・ ブロナウ農務副長官、トロッテンバーグ運輸副長官、連邦海事局レスリー長官代行、連邦鉄道局ボース長官代行、ロサンゼルス市ガーセッティ市長、ロングビーチ市ガルシア市長、その他、港湾やサプライチェーンの関係者が出席。
- ・ サプライチェーンの混乱は一時的なものであると信じているが、連邦政府が使えるツールは全て使って対処することとしており、今回の円卓会議も一環として行われたもの。
- ・ 上記の米国政府の報道発表は以下のHPIにありますので参照ください。

<https://www.transportation.gov/briefing-room/secretary-pete-buttigieg-hosts-roundtable-port-congestion-supply-chain-disruptions>

【その他】

- ・ 内陸輸送については、中古トラックが市場で高騰。トラックドライバーの人手不足と相まって逼迫が今年中続くと予想する声も（港湾関係者）
- ・ 米国鉄道（UNION PACIFIC RAIL）は、急激なコンテナの増加で機能不全に陥っているシカゴの主要鉄道ターミナルの滞留コンテナの排出処理を優先するため、西海岸4港（ロサンゼルス、ロングビーチ、オークランド、タコマ）からのコンテナ列車輸送を7月15日から7日程度止めていたが、22日に西海岸4港からの受入を再開した。（報道情報）

図1-1 LA港 沖待ちしたコンテナ船と着岸しているコンテナ船の隻数

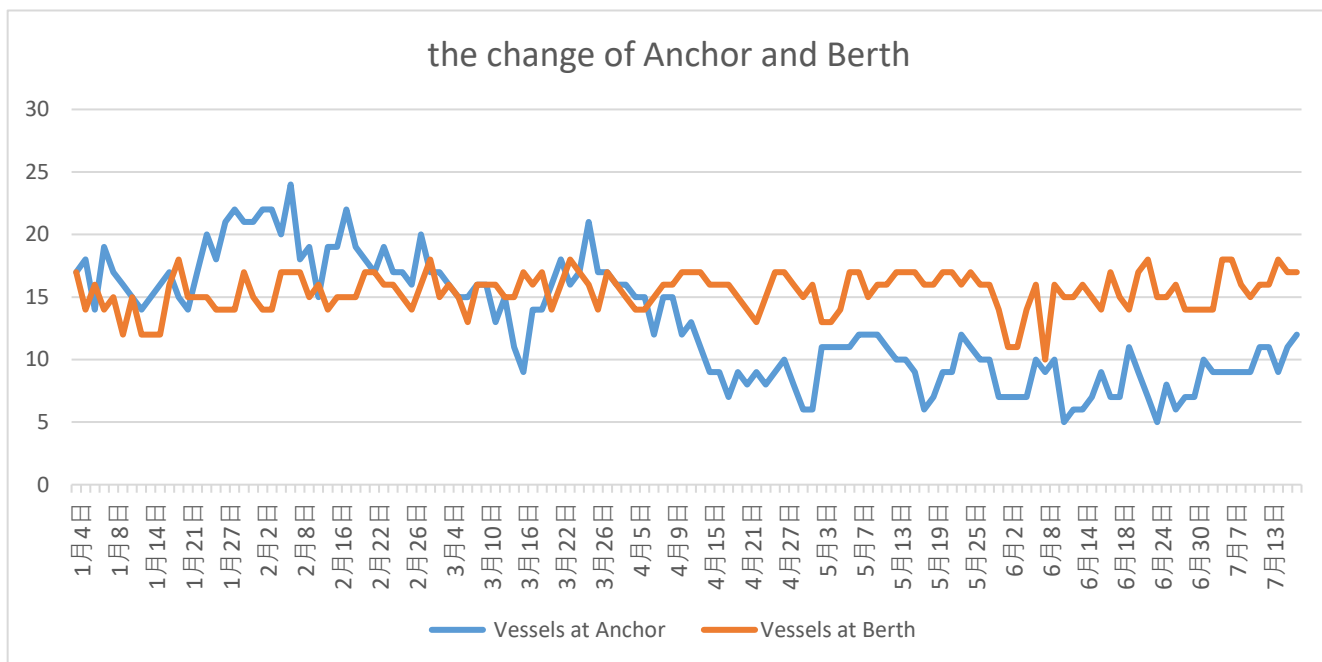


図1-2 LB港 沖待ちしたコンテナ船の隻数

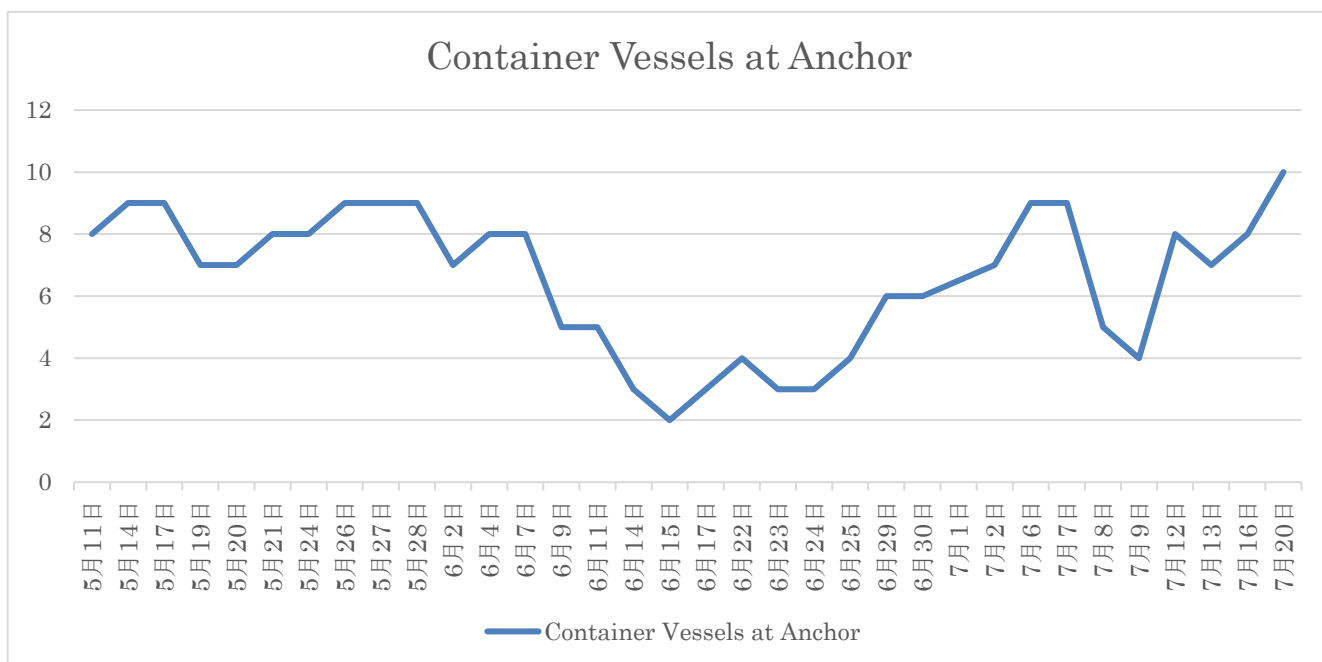


図2-1 LA港 沖待ちと着岸に要する平均日数の推移

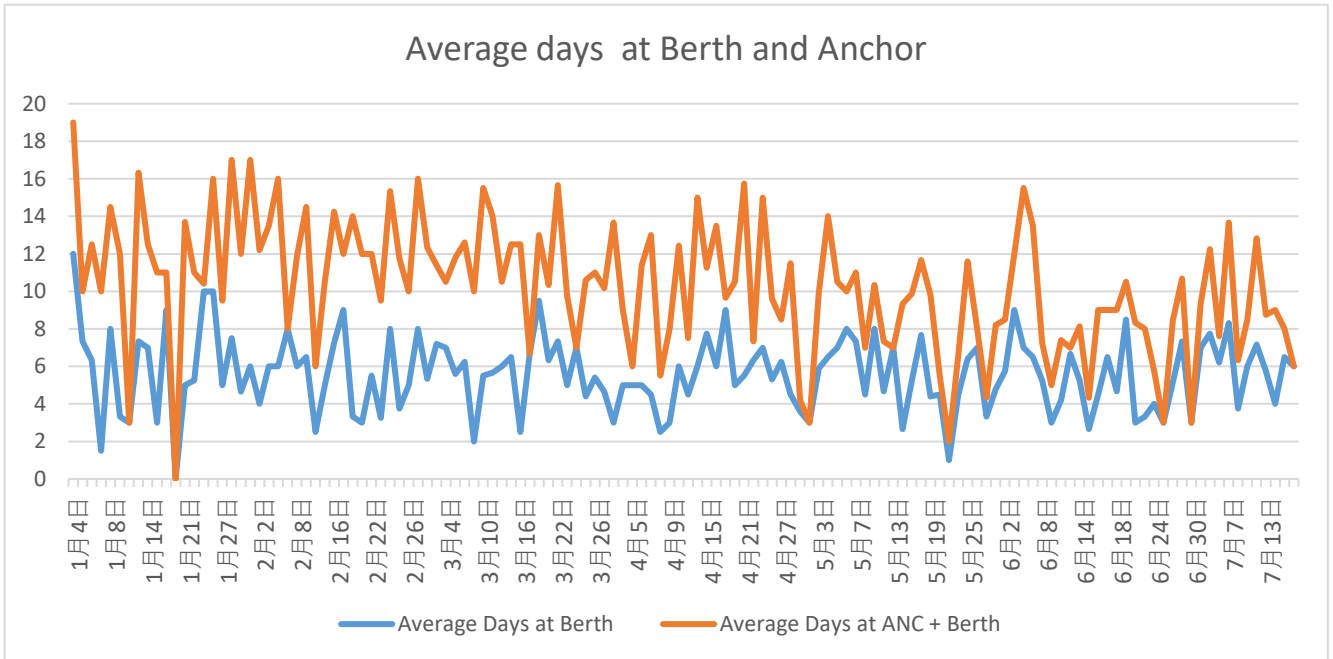


図3-1 LA港コンテナ取扱量推移

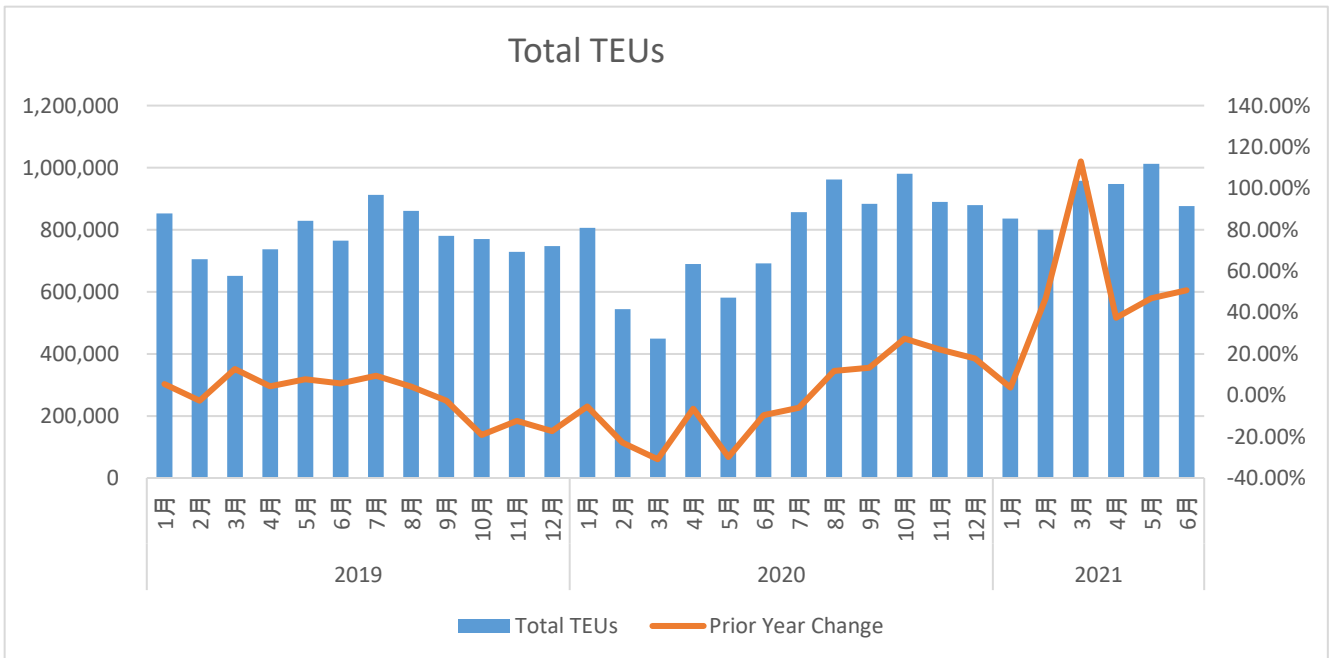
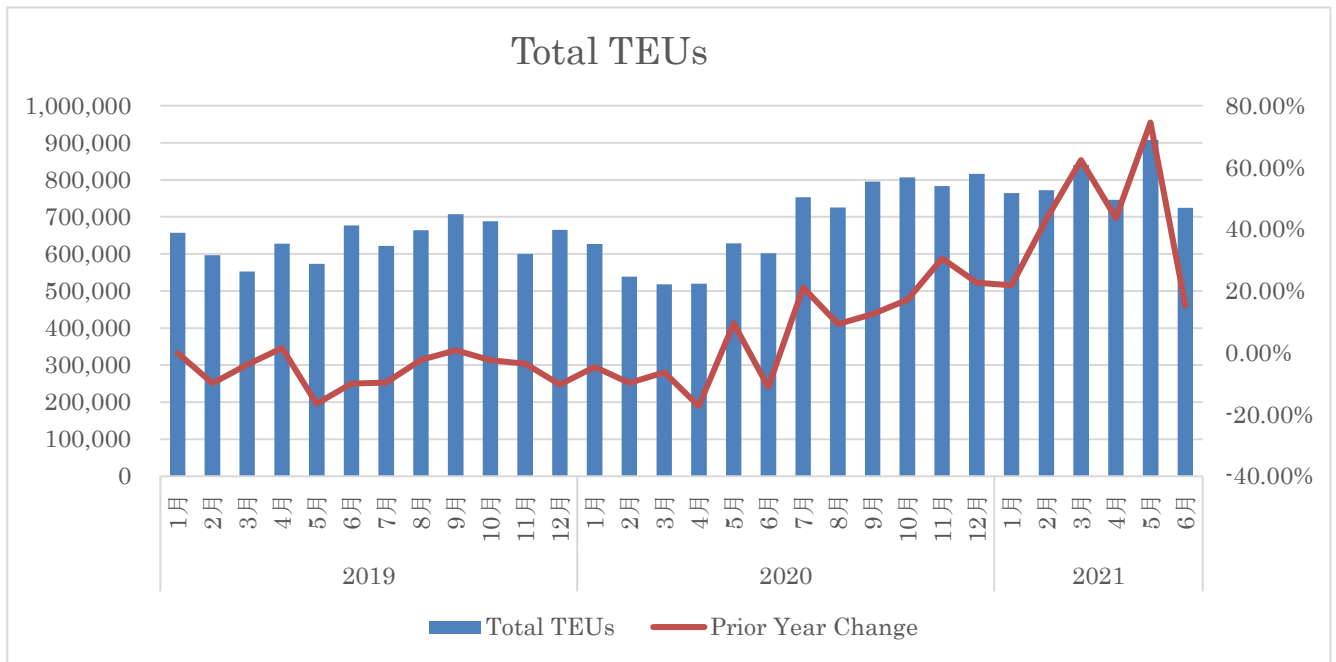


図3-2 LB港コンテナ取扱量推移



●オークランド港

【コンテナ船の滞船状況】

- ・ 3月から15~22隻が沖待ちしている。ほとんどの船舶がLA/LB港に寄港した後にオークランド港に寄港。オークランド港で農産物やリサイクル材を積み込み（港湾関係者）。
- ・ たとえば、5月4日のオークランド港のコンテナ船の状況は、5隻が着岸して荷役。9隻が錨地でアンカー。13隻が湾外で待機中（いわゆる沖待ちは22隻）
- ・ その後、5月から6月3日、4日にかけてコンテナ船の沖待ち隻数は30隻に増加するなどした後、7月に入って減少傾向（オークランド港提供情報 図4-1参照）

【コンテナ貨物量】

- ・ 2020年オークランド港における2020年のコンテナ取扱数は図4-2の通り。
- ・ オークランド港のコンテナ取扱数は2021年3月に急激に増加。3月のコンテナ取扱数（約24万TEUs）は単月での過去最高。オークランド港関係者は「混雑状況はしばらく収まりそうにない」との見立て。（港湾関係者）
- ・ その後、4月~6月のコンテナ取扱量実績は、2019年、2020年の取扱実績を超えて推移。輸入貨物の増加傾向は継続している。（オークランド港提供情報 図4-2参照）

【コロナ感染症の荷役時間等への影響】

- ・ オークランド港では荷役従事者に週3回（1回当たり50~70名）ワクチン接種を行っており、全員がワクチン接種を行うまで実施予定。（港湾関係者聞取）

【港湾当局の対応】

- ・ 昨年より多くの取扱量のため、運送業者向けにコンテナ蔵置用の土地を平常時より多く提供。更なるコンテナ蔵置用の土地確保に向けてターミナル運営会社と協議中（港湾関係者聞取）。
- ・ 大型船舶の荷役に対応できるのは現在3バースしかないが、北米で最大級のコンテナクレーンを3基導入中（クレーンの組立、試験を実施中）であり、既に供用開始。これにより大型船舶を扱えるコンテナ岸壁は概ね5バースになった。（報道情報・港湾関係者）
- ・ 7月16日 オークランド港管理者はプレスで、「オークランド港では、港湾労働者を更に雇っており、夏の終わりまでには遅れが改善するだろう」との見通し。

<https://www.portofoakland.com/press-releases/port-of-oakland-volume-spiked-11-4-percent-in-first-half-21/>

【その他】

- ・ ターミナルオペレーターと船会社は、荷送人（shippers）に対して、適切なタイミングで貨物を引き取ることを求めるペナルティが課している。（港湾関係者）
- ・ 荷主に対しては、カットオフ日や関連するペナルティを確実に把握するため、船会社と早めかつ頻りに連絡を取るよう強く要請している。（港湾関係者）
- ・ 様々なサイズのコンテナが不足している。現在はリーファーコンテナの不足が顕著。（港湾関係者）
- ・ 6月末時点で、ワクチン接種完了者は、カリフォルニア州の全人口約3930万人中、約1994万人（州全人口の約50.8%）、ワクチンを一回接種した人は約330万人（同約8.4%）、併せて59.2%となっている。なお、オークランド港の属する地域は1回以上の接種を受けた人が既に82%となっている（報道情報等）。

図4-1 オークランド港 コンテナ船の沖待ちと着岸中の隻数

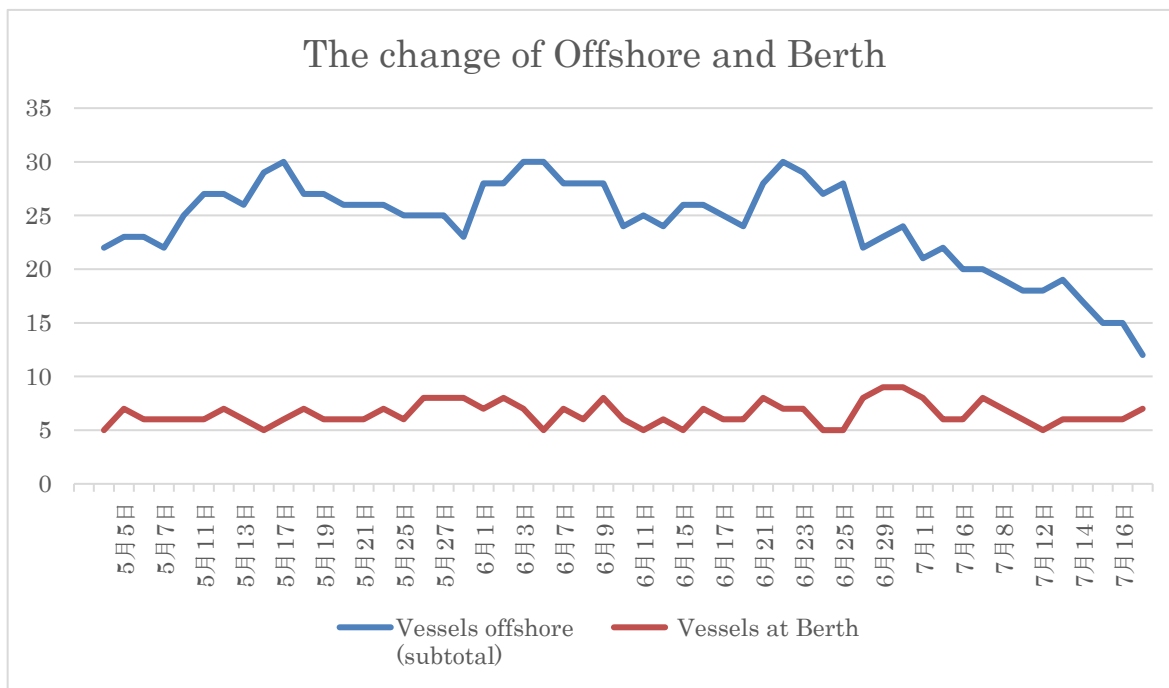
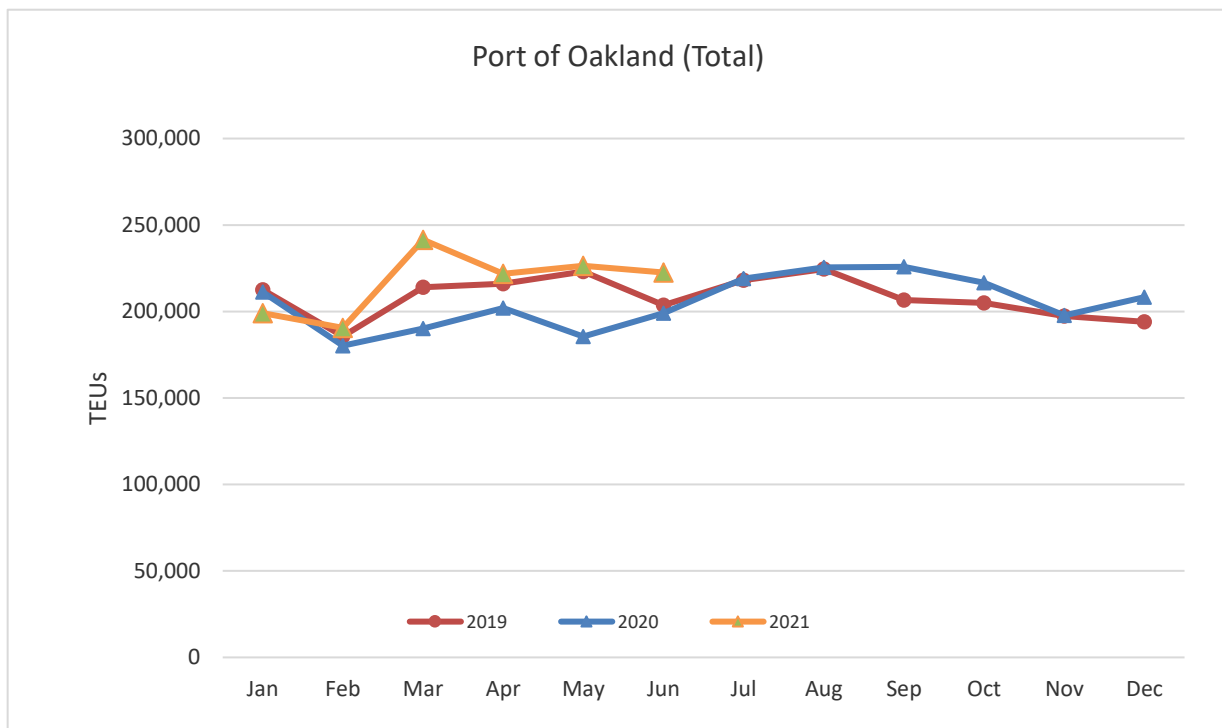


図4-2 オークランド港コンテナ取扱量推移



●釜山港

【コンテナ貨物の状況】

・輸入コンテナ貨物は2020年11月から微減傾向後に増加し2021年3月に約101.4万TEU/月（2020年同月比1.8%増）。その後前年同月を上回って推移。輸出コンテナ貨物は2020年6月頃から10月頃にかけて増加し、2020年10月約95.7万TEU/月（2019年同月比2.7%増）。その後、2021年3月以降は前年同月を上回って推移。（図5-1、5-2参照）

・6月29日報道 釜山港新港は、各ターミナル運営会社のヤード（蔵置場）は船積みを待つコンテナが蔵置され、普段3~4段程度の高さだったコンテナが5~6段の高さになり、この日基準で、新港ターミナルの積コンテナ蔵置場シェアは80~90%水準。（報道情報）

・6月29日 海洋水産部の発表によると、以下について言及

新型コロナウイルスの影響により、昨年下半年から世界的な主要港湾の連鎖的な滞積の発生および船腹不足の現象が続いており、釜山港（新港）も普段に比べ高い蔵置率（蔵置場にコンテナが積まれている割合）を維持しているため、貨物処理が遅れており、輸出貨物の搬出が難しくなり、輸出荷主が困難を訴えている状況。

海水部とBPAは釜山港を通じて輸出される貨物を臨時保管できる場所の提供を計画。その他臨時船の投入などについても言及。

・7月19日 海洋水産部は輸出貨物臨時保管場所拡大、臨時船などについて発表

（上記報道発表における、釜山港新港蔵置率推移）

（'19）68.8% → （'20）74.0% → （'21.1）78.6% → （'21.4）83.0% → （'21.5）82.1% → （'21.6）81.5% →（'21.7.1~19）80.8%

・上記詳細は海洋水産部の発表（HP 中プレスリリース 6/29、7/19）を参照ください。（韓国語）
<https://www.mof.go.kr/>

図5-1 釜山港輸入コンテナ取扱量推移

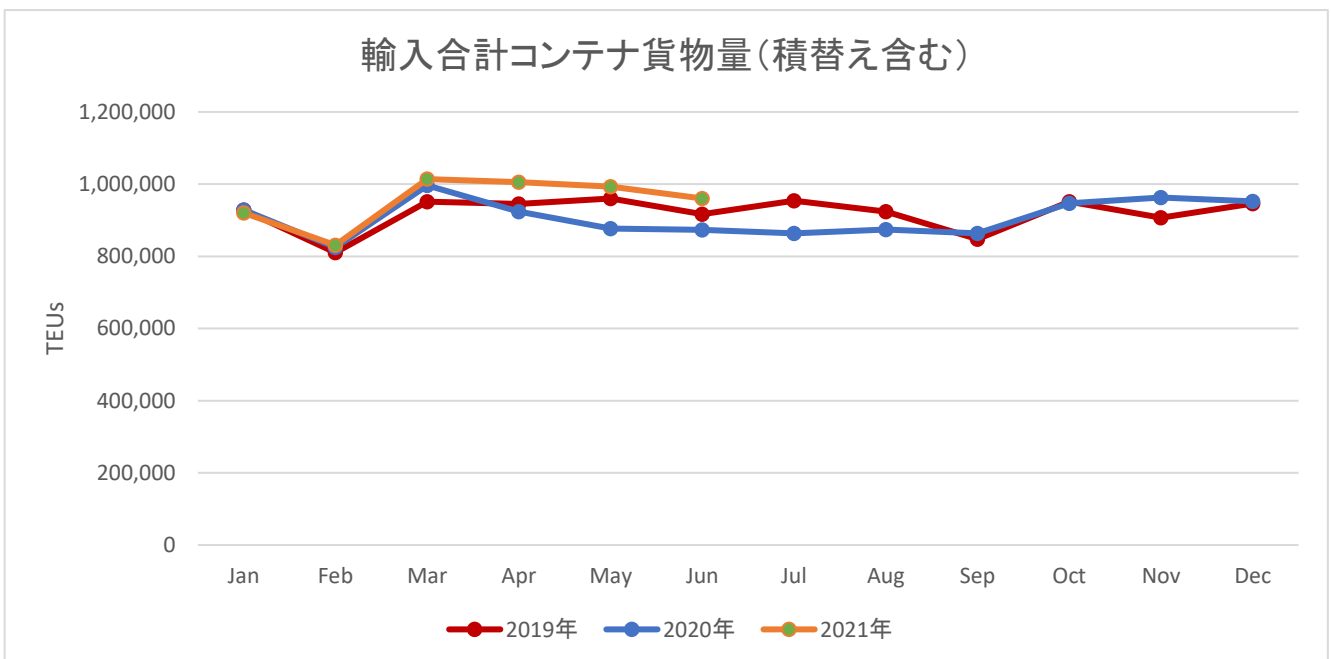
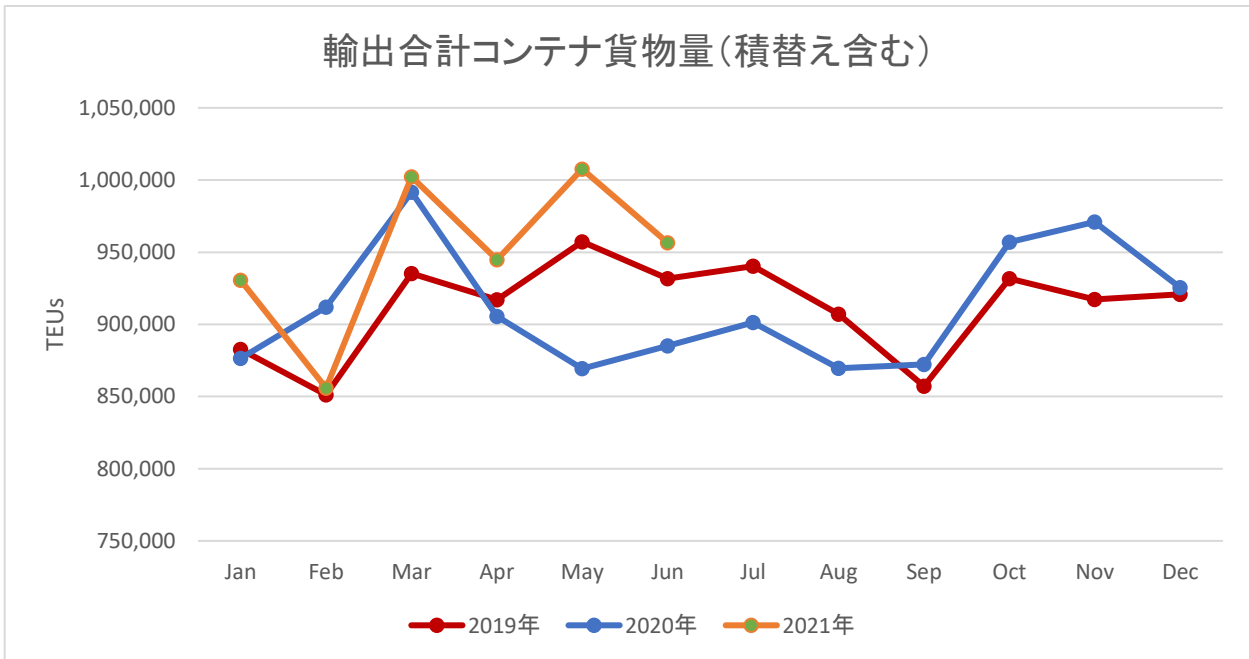


図5-2 釜山港輸出コンテナ取扱量推移



●塩田港

・5月21日に、塩田港の港湾労働者が新型コロナウイルスの感染が確認され、一時的なターミナルの閉鎖や作業効率の低下などが生じていた（報道情報等）

・6月24日 深圳市人民政府のHPには、盐田国际集装箱码头有限公司（いわゆる塩田港）が、24日から港湾エリアが全面操業を再開する発表をした旨の発表・報告。

・上記の詳細の発表は以下発表を参照ください。（中国語）

http://www.sz.gov.cn/cn/ydmh/zwdt/content/post_8898111.html

<http://www.sz.gov.cn/cn/xxgk/xwfy/wqhg/20210624/>

・また、塩田港のコンテナターミナル（Yantian International Containerterminal）のHPにおいても同様の報告がされております。

●シンガポール港

【コンテナ船の寄港状況】

・シンガポール港におけるコンテナ船の寄港状況は、2021年1月頃から6月までは、2020年の1月～6月までと比較して減少傾向（シンガポール港統計情報図6-1）

【コンテナ取扱量】

・シンガポール港におけるコンテナ船取扱量は、2021年1月頃から6月までは前年を上回る取扱量の傾向。

※なお、シンガポール港のコンテナ船やコンテナ貨物量の状況などは下記で随時更新されていますので参照ください。

<https://www.mpa.gov.sg/web/portal/home/maritime-singapore/port-statistics>

【その他】

・6月21日 運輸省のチー・ホンタット上級国務大臣のスピーチを以下発表

2020年のシンガポールにおけるコンテナの処理能力（throughput）は0.9%低下したが、今年に入ってから取扱量は、2019年同時期に比べ約4%増加し、コロナ禍以前に回復している。また、新型コロナウイルス感染症やスエズ運河の事故がシンガポール港の貨物取扱量に大きな影響は与えなかった

・詳細は以下を参照ください。

[https://www.mot.gov.sg/news-centre/news/Detail/remarks-by-senior-minister-of-state-for-transport-mr-chee-hong-tat-at-the-virtual-launch-of-the-smart-port-challenge-\(spc\)-2021](https://www.mot.gov.sg/news-centre/news/Detail/remarks-by-senior-minister-of-state-for-transport-mr-chee-hong-tat-at-the-virtual-launch-of-the-smart-port-challenge-(spc)-2021)

図6-1 シンガポール港 コンテナ船寄港数

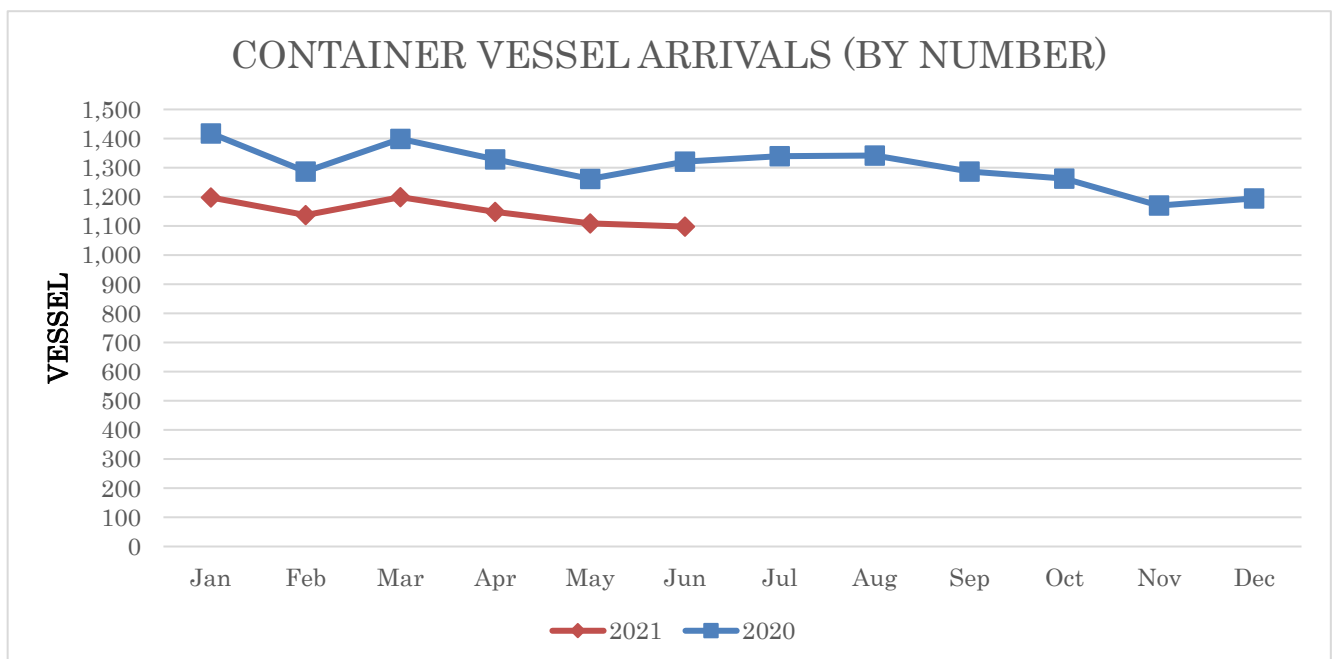


図6-2 シンガポール港 コンテナ取扱量推移

